



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年1月30日

上場会社名 株式会社 タクミナ

上場取引所 東

コード番号 6322 URL <https://www.tacmina.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田 圭祐

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 植田 和寛

TEL 06-6208-3971

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	8,092	1.7	1,127	8.2	1,193	4.9	820	6.6
2025年3月期第3四半期	7,956	0.0	1,228	13.5	1,255	13.3	878	12.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 977百万円 (11.8%) 2025年3月期第3四半期 874百万円 (3.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	118.91	—
2025年3月期第3四半期	121.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	14,403	10,953	76.0
2025年3月期	14,730	10,298	69.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 10,953百万円 2025年3月期 10,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2026年3月期	—	25.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	2.5	1,650	2.9	1,680	2.1	1,225	0.6	177.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	7,728,540 株	2025年3月期	7,728,540 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	823,882 株	2025年3月期	838,474 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	6,897,866 株	2025年3月期3Q	7,237,694 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
3. その他	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などにより緩やかな回復基調となりました。一方で、米国の通商政策の影響による海外景気下振れへの懸念や、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響などが、景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、国内市場において、足元の設備投資が底堅く推移し、特にケミカル業界を中心に業績が好調に推移しました。一方、海外市場においては、EV市場の成長鈍化の見通しから、二次電池業界の設備投資計画に調整が入ったこともあり、厳しい結果となりました。

主な品目別販売実績は、以下のとおりです。

高性能ソリューションポンプは、国内市場では、当社主力製品である「スムーズフローポンプ」の主要市場となるケミカル業界において、素材関連を中心に設備投資計画が順調に進展し、前期に引き続き好調に推移しました。「スムーズフローポンプ」の販路は、研究・開発分野における新用途に向けても拡大しており、環境負荷低減や自動化・効率化などに関連したシステム化のニーズに対しても、スムーズフローテクノロジーを駆使したソリューションの導入が進んでおります。また、2025年11月には、幕張メッセで開催された「高機能素材Week 2025」に5年連続で出展し、塗料並びにフィルムや接着剤等の製造工程のほか、電池・素材・MLCC市場に向けて「スムーズフローポンプ」を中心とした流体ソリューションやスムーズフローテクノロジーを紹介し、TCO（Total Cost of Ownership）削減への貢献や納入実績を訴求するとともに更なる認知向上を図りました。

海外市場では、韓国企業における二次電池関連に向けた「スムーズフローポンプ」の納入は一部継続しているものの、EV需要の減速に伴い投資計画に足踏みが見られ、低調に推移しました。

汎用型薬液注入ポンプは、滅菌・殺菌業界向けの販売が底堅く推移したことに加えて、国内の水処理プラント向け案件を多数受注したことにより、好調を維持しました。

ケミカル移送ポンプは、「ムンシュポンプ（高耐食ポンプ）」の大型案件が、製鉄プラント向けに納入されたことに伴い売上が大きく増加し、業績に貢献しました。

計測機器・装置は、プラント向け大型案件を獲得したことによりシステム案件が増加し、売上を伸ばしました。

流体機器は、工業薬品の生産設備にかかる大型の増設案件を納入したことにより、売上が大きく増加しました。

ケミカルタンクは、水処理関連で大型タンクやソリューションタンクなどの導入が順調に進み、売上が増加しました。

以上の結果、売上高は80億92百万円（前年同期比1.7%増）と増加しました。利益面につきましては、売上構成の変化に伴い限界利益率が低下し、売上総利益は37億38百万円（同1.6%減）と減少しました。また、販売費及び一般管理費は、継続的な賃上げの実施や積極的な販売促進及び研究開発活動に向けた投資等の影響により増加し、営業利益は11億27百万円（同8.2%減）、経常利益は11億93百万円（同4.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億20百万円（同6.6%減）とそれぞれ減益となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3億26百万円減少し、144億3百万円となりました。

流動資産は5億15百万円減少し、90億79百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金の減少1億52百万円、売上債権の減少3億67百万円、有価証券の増加77百万円、棚卸資産の減少1億52百万円、貸倒引当金の減少77百万円であります。

固定資産は1億89百万円増加し、53億24百万円となりました。増加内訳は、有形固定資産の増加32百万円、無形固定資産の増加49百万円、投資その他の資産の増加1億7百万円であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて9億82百万円減少し、34億49百万円となりました。

流動負債は13億54百万円減少し、23億17百万円となりました。主な減少内訳は、仕入債務の減少4億43百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少3億50百万円、未払法人税等の減少1億25百万円、賞与引当金の減少2億21百万円であります。

固定負債は3億72百万円増加し、11億32百万円となりました。主な増加内訳は、長期借入金の増加3億50百万円、退職給付に係る負債の増加26百万円であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて6億55百万円増加し、109億53百万円となりました。主な増減内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益8億20百万円から配当金3億45百万円の支払いを差し引いた利益剰余金の増加4億75百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億71百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の69.9%から76.0%へと6.1ポイント上昇いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月8日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました、通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,213,766	3,061,610
受取手形及び売掛金	2,734,301	2,002,057
電子記録債権	1,727,215	2,092,228
有価証券	—	77,729
商品及び製品	341,354	187,968
仕掛品	8,059	3,113
原材料及び貯蔵品	1,581,644	1,587,934
その他	69,242	69,780
貸倒引当金	△80,523	△3,270
流動資産合計	9,595,059	9,079,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,437,616	1,508,634
その他（純額）	1,058,797	1,020,627
有形固定資産合計	2,496,414	2,529,262
無形固定資産	147,911	197,442
投資その他の資産		
投資有価証券	1,888,491	2,064,788
その他	604,342	629,668
貸倒引当金	△1,928	△96,527
投資その他の資産合計	2,490,905	2,597,929
固定資産合計	5,135,231	5,324,634
資産合計	14,730,291	14,403,787

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	851,398	538,952
電子記録債務	905,310	774,327
短期借入金	38,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	350,000	—
未払法人税等	268,351	143,060
賞与引当金	374,400	152,517
その他	884,428	658,470
流動負債合計	3,671,889	2,317,328
固定負債		
長期借入金	—	350,000
退職給付に係る負債	597,607	624,302
その他	162,716	158,265
固定負債合計	760,324	1,132,568
負債合計	4,432,213	3,449,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	892,998	892,998
資本剰余金	790,226	797,562
利益剰余金	8,915,315	9,390,460
自己株式	△897,303	△881,642
株主資本合計	9,701,237	10,199,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	442,220	613,720
土地再評価差額金	29,652	29,652
為替換算調整勘定	75,863	62,791
退職給付に係る調整累計額	49,104	48,346
その他の包括利益累計額合計	596,840	754,511
純資産合計	10,298,078	10,953,890
負債純資産合計	14,730,291	14,403,787

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
売上高	7,956,784	8,092,062
売上原価	4,157,936	4,353,392
売上総利益	3,798,847	3,738,670
販売費及び一般管理費	2,570,567	2,611,663
営業利益	1,228,279	1,127,006
営業外収益		
受取利息	25,131	30,201
受取配当金	22,153	25,598
持分法による投資利益	2,786	2,941
為替差益	1,895	—
その他	7,415	12,024
営業外収益合計	59,381	70,767
営業外費用		
支払利息	1,601	2,589
為替差損	—	1,420
支払手数料	29,985	—
その他	1,062	459
営業外費用合計	32,649	4,469
経常利益	1,255,011	1,193,304
特別利益		
投資有価証券償還益	10,158	—
特別利益合計	10,158	—
特別損失		
減損損失	—	20,252
特別損失合計	—	20,252
税金等調整前四半期純利益	1,265,169	1,173,051
法人税等	387,021	352,814
四半期純利益	878,148	820,237
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	878,148	820,237

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益	878,148	820,237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,353	171,500
繰延ヘッジ損益	△893	—
為替換算調整勘定	△10,737	△13,071
退職給付に係る調整額	1,648	△757
その他の包括利益合計	△3,629	157,670
四半期包括利益	874,518	977,907
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	874,518	977,907
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	200,429千円	222,624千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、ポンプ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

(1) 売上高

(単位：百万円)

品 目	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
高性能ソリューションポンプ	3,110	39.1	2,798	34.6	△311	△10.0
汎用型薬液注入ポンプ	2,183	27.4	2,219	27.4	36	1.7
ケミカル移送ポンプ	508	6.4	700	8.7	192	37.8
計測機器・装置	992	12.5	1,044	12.9	51	5.2
流体機器	300	3.8	425	5.2	125	41.7
ケミカルタンク	532	6.7	555	6.9	23	4.4
その他	330	4.1	347	4.3	16	5.1
合 計	7,956	100.0	8,092	100.0	135	1.7
(うち海外)	(1,284)	(16.1)	(963)	(11.9)	(△320)	(△25.0)

(注) 当社の取扱品目は多種多様にわたり、数量表示が困難なため、記載を省略しております。

(2) 受注高及び受注残高

(単位：百万円)

品 目		前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		増 減	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
受 注 高	高性能ソリューションポンプ	2,837	34.9	2,882	36.2	45	1.6
	汎用型薬液注入ポンプ	2,198	27.0	2,246	28.2	47	2.2
	ケミカル移送ポンプ	649	8.0	509	6.4	△140	△21.6
	計測機器・装置	1,174	14.4	1,181	14.9	6	0.6
	流体機器	319	3.9	265	3.3	△53	△16.9
	ケミカルタンク	632	7.8	513	6.5	△119	△18.9
	その他	320	4.0	356	4.5	36	11.5
	合 計 (うち海外)	8,132 (1,164)	100.0 (14.3)	7,955 (933)	100.0 (11.7)	△177 (△231)	△2.2 (△19.9)
受 注 残 高	高性能ソリューションポンプ	1,208	41.7	1,048	51.4	△159	△13.2
	汎用型薬液注入ポンプ	258	8.9	247	12.1	△10	△4.2
	ケミカル移送ポンプ	376	13.0	124	6.1	△252	△67.1
	計測機器・装置	470	16.2	345	16.9	△124	△26.4
	流体機器	249	8.6	73	3.6	△175	△70.4
	ケミカルタンク	242	8.4	111	5.5	△130	△53.9
	その他	92	3.2	90	4.4	△2	△2.4
	合 計 (うち海外)	2,898 (451)	100.0 (15.6)	2,042 (317)	100.0 (15.5)	△856 (△134)	△29.5 (△29.8)

(注) 当社の取扱品目は多種多様にわたり、数量表示が困難なため、記載を省略しております。